

“ヒラメキ”からはじまる
企業ストーリー

『「ハイブリッド工法」で低価格・短工期を実現—株式会社クレンセ』

文 牛久保洋次

text by Yoji Ushikubo

【未常識】今は常識ではない、でも未来に常識となる事：これは私が作った造語です。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、東京都心では様々なインフラ整備や再開発が進められており、それに伴って、不動産開発も活発に行われております。

湾岸エリアを中心にマンションも多数開発されている一方で、日本全国では修繕工事の適齢期を迎えるマンション数も年々増加している問題も抱えております。

今回は『ロープアクセス工法』を用いて、外壁の補修や防水工事（タイルのコーキング）・高所作業を請け負う【株式会社クレンセ】をご紹介します。いただきます。

マンションの大規模修繕では基本的に修繕積立金を使って工事を行っていきますが、積立金が計画通りに集まらなかったり、予想以上に予算をオーバーしてしまい、資金が不足してしまう事も珍しくありません。

工事費用を極力抑え、品質を維持する方法として、工事費用の中で高い割合を占める、足場の組立・解体費用を軽減し、ロープアクセスと足場を併用して工事を行う「ハイブリッド工法」と呼んでいます、この工法を同社は活用しています。

大規模修繕の中でも最もコストが掛かる外壁工事において、初めに屋上からロープを使用して、全壁

面を打診してタイルの剥離や損傷、水漏れをチェックします。工事が必要な場所のみを特定して見積を作成するので、正確で品質が大きく向上します。

足場で施工する箇所とロープで施工する箇所を現場に応じて最適なものを提案する「ハイブリッド工法」低価格は勿論、短期間での工事も可能です。作業箇所との距離が近く、細かく正確な作業にも適しており、足場が立てられないような狭い所での作業を行う事もできます。

また足場がないという事は泥棒の侵入経路を作らないという点で、防犯上の効果を発揮します。光が遮られるといったストレスを住民が感じることもありません。

建物の構造上に合わせてご提案していくので、工事用途によっては確かなメリットがあります。今後、年々増加していくマンション大規模修繕において、この二つの工法を合わせたものが主流となっていくのではないのでしょうか。

【株式会社クレンセ】 <http://www.crencer.co.jp/>

今月の一言

品質×コストのあくなき追求で
職人の技術革新

これが則ち【未常識の発見】

Profile

慶應義塾大学商学部 卒業
株式会社友アンド愛（レコードレンタルビジネスの開発者）を創業し、代表取締役就任。約700店舗をFC展開する。株式会社ビザカリフォルニアを創業し、代表取締役就任。約400店舗をFC展開する。日本CDビデオレンタル商業組合 初代理事長（社）ニュービジネス協議会 理事等を歴任。
現在、株式会社いかしあい隊 会長、その他顧問数社。

